

これからの図書館のカタチカラ

第2回

図書館ってどんなところ？
～ご存じですか？図書館の役割②～

高浜市において、これからの時代にふさわしい「図書館のあり方」(役割・必要な機能)について、『これからの図書館のカタチ・チカラ』と題して、『広報たかはま』などを通して市民の皆さんとともに考えていきます。

今号では取り組み内容をさらに深掘りすることで、図書館に必要なチカラ(機能)を考えていきます。



▲おとなのための音読教室のようす



▲特集コーナーは見やすく整頓されている

届けるチカラ

【図】

図書館の役割として、本の貸し出しを行うことに目がいきがちですが実は「困っている人にステキな本を届ける、さりげない仕掛け」が大切です。

季節にあわせた特集コーナーを設け、ポップといわれる手作りのコメントで紹介し「ちょっと立ち止まって本を手取る」瞬間を創り出すことも司書のチカラなのです。

また最近では、図書館を病院に、そして本をお薬に見立て、「症状」に効果的な1冊をお届けする取組みを行うなど、企画をとおして市民の皆さんの「困った」「どうしよう」に寄り添う場をめざしています。

学ぶチカラ

【学】

習の一步は「どうして？」という疑問からはじまります。「知りたい！」と思う気持ちを育てることを目的として夏休みには、宿題応援窓口を開設し、単に本を紹介するだけでなく、司書が寄り添いながら疑問に対する答えに導いていくことで、子どもの学ぶチカラ、調べるチカラを伸ばすお手伝いをしています。大人の「知りたい！」に対しては「おとなのための音読教室」で古典や詩などを声に出して読みあいます。ひとりで読むと「難しい」と思える部分もかんたんな解説とともに読むことで理解が深まることがありますよね。

交じり合うチカラ

【交】

流の場・活動の場としての図書館を支えているのが「図書館ボランティア」の皆さんです。本の読み聞かせや読書相談、絵本を見やすく書棚に並べるなどしています。

絵本に関する相談はもちろんですが、経験から子育てに関する相談を受けることも。皆さん親切に対応してくれそうですよ。

また最近では、図書館を病院に、そして本をお薬に見立て、「症状」に効果的な1冊をお届けする取組みを行うなど、企画をとおして市民の皆さんの「困った」「どうしよう」に寄り添う場をめざしています。



▲図書館フェスティバルでの読み聞かせ

図書ボランティアさんの声

Q 今後どんな図書館サービスが必要だと思いますか？

A 将来的には図書館を情報が集まる拠点にすると思います。例えば、引っ越しされた方がいたら手続きする前にまずは図書館に行く。そして司書からどこへ相談に行けばいいか案内してもらうことができるといいですね。「迷ったらまずは図書館へ行く!」そんな生き方・暮らし方を支える図書館をめざしていただけるとよいのではないのでしょうか。

- ◆図書館での催しに関しては22ページに記載がある「図書館情報」や図書館公式ホームページおよびフェイスブックを確認してください。
- ◆今後も図書館の取り組みなどについては『広報たかはま』でお知らせします。



▲ホームページ



▲フェイスブック

問合せ先 [いきいき文化スポーツグループ](#) ☎ 52-1111(内線331)